

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公表番号】特表2007-526705(P2007-526705A)

【公表日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2007-501341(P2007-501341)

【国際特許分類】

H 04 N 7/01 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/01 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月3日(2008.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インタレースされた信号から進行走査信号を生成するためのモーション補正インタレース解除装置であって、

(a) インタレースされたフィールド内の欠損ラインをインタレースされた信号内の少なくとも1つの他のフィールドから導出するためのモーション補正手段(18)と、

(b) 欠損ラインが導出される前記フィールドの既知のラインと以前のモーション補正されたフィールドとを用いて、前記モーション補正手段の精度に関する第1の信頼基準を導出するための手段(12)と、

(c) 少なくとも2つの他のフィールドの既知のラインを用いて前記モーション補正ユニットの精度に関する第2の信頼基準を導出するための手段(10)と、

(d) 少なくとも前記モーション補正ユニットから及び前記導出された信頼基準の組合せに依存する1つの他のインタレース解除手段から表示のための出力を選択するための手段(14、15)と、

を含むことを特徴とするモーション補正インタレース解除装置。

【請求項2】

前記導出された信頼基準の比較の結果に応じて異なるインタレース解除手段に切り換えるための手段を含むことを特徴とする請求項1に記載のモーション補正インタレース解除装置。

【請求項3】

前記異なるインタレース解除手段は、前記信頼基準の1つが所定の値よりも低くなった場合に使用に切り換えることを特徴とする請求項2に記載のモーション補正インタレース解除装置。

【請求項4】

異なるインタレース解除手段を使用に切り換えるための前記手段は、出力インタレース解除信号を生成するために使用される2つ又はそれよりも多くのインタレース解除手段の比率を配合する手段を含むことを特徴とする請求項2又は請求項3に記載のモーション補正インタレース解除装置。

【請求項5】

インタレースされた信号から進行走査信号を生成するためにモーション補正インタレ-

ス解除する方法であって、

(a) モーション補正により、インタレースされたフィールド内の欠損ラインをインタレースされた信号内の少なくとも 1 つの他のフィールドから導出する段階と、

(b) 欠損ラインが導出される前記フィールドの既知のラインと以前のモーション補正されたフィールドとを用いて、前記モーション補正の精度に関する第 1 の信頼基準を導出する段階と、

(c) 少なくとも 2 つの他のフィールドの既知のラインを用いて前記モーション補正ユニットの精度に関する第 2 の信頼基準を導出する段階と、

(d) 少なくとも前記モーション補正ユニットから及び前記導出された信頼基準の組合せに依存する 1 つの他のインタレース解除手段から表示のための出力を選択する段階と、
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 6】

前記導出された信頼基準の比較の結果に応じて異なるインタレース解除手段に切り換える段階を含むことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記信頼基準の 1 つが所定の値よりも低くなった場合に異なるインタレース解除手段に切り換える段階を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

異なるインタレース解除手段に切り換える前記段階は、出力インタレース解除信号を生成するために 2 つ又はそれよりも多くのインタレース解除手段の比率を配合する段階を含むことを特徴とする請求項 6 又は請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

実質的に本明細書で図面の図 7 を参照して説明したモーション補正インタレース解除装置。

【請求項 10】

実質的に本明細書で説明したモーション補正インタレース解除する方法。